

## 笑顔で歩く奥の細道 李登輝氏、松島など訪問



訪問先の塩釜神社で歓迎を受けた李登輝氏

奥の細道をめぐる観光などのために来日した台湾の李登輝前総統が2日、宮城県を訪れ、松島町や塩釜市などの名勝史跡をめぐった。

新幹線で仙台駅に到着後、多賀城市の史跡「壺の碑(つぼのいしぶみ)」を見学した後、塩釜市の塩釜神社を参拝し、松島町で瑞巖寺や円通院なども回った。

塩釜神社では、宮城県日台親善協会や日本李登輝友の会宮城県支部のメンバーらが、日の丸と台湾の旗を振って歓迎した。李氏は参拝記念に境内でメグスリノキを記念植樹した。

参拝を終えた李氏は、同行した妻の曾文恵さんが詠んだ「今昔 芭蕉慕ふる 南風」という句を披露した。塩釜神社によると、李氏は芭蕉が訪れた当時と社殿があまり変わっていないという説明に感銘を受けていたという。

李氏は5月30日に訪日し9日まで滞在予定。3日は山形市の山寺を訪問、夕方からは仙台市で、県日台親善協会と友の会宮城県支部主催の歓迎レセプションに出席する予定。6日には秋田市で講演会を開く。

2007年06月02日土曜日

<http://jyoho.kahoku.co.jp/member/news/2007/06/20070603t13013.htm>